

ヘリクツイレブン

2020年版

南参

登場人物

鞍馬 高校サッカー経験者。久々の試合に張り切っている。

鎌田 基本的におちゃらけている。あまりこだわりは無い。

小次郎 双子の兄が敵チームにいる。本気を出せない。

氏次 保守的で、言うことを聞かない奴に敵しい。

馬本 スマートでオシャレな雰囲気。プライドが高い。

渡邊 誰にも知られていないが元サッカー部のエース。腹の調子が悪い。

森 バカがつくほど真面目。優等生的。和を乱す人間は許せない。

山口 当たり障りなく人付き合いをこなすが、厄介ことは人に押し付ける。

片山 ギャルっぽく、ヤンチャな男が好き。意外と真面目でもある。

八重樫 自分を出せずに悩んでいる。

萩 とにかく時間にうるさい。予定を崩されるのが我慢ならない。

渡辺 体調を崩した息子の代理でやって来た。元ヤクザ。

武蔵 小次郎の双子の兄。負けん気が強い。(小次郎役と二役)

ヘリクツイレブン

2020年版

8月上旬、夏真っ盛り。遠くから蝉の声が聞こえてくる。

朝8時10分過ぎ。町立志津山しづやま高校の空き教室。部屋の隅には勉強机やイスが積まれている。教室中央付近にもイスが何脚か散らばっている。その内の一脚にはサッカーボールが一つ、ポツンと乗っかっている。舞台上手側には黒板。舞台奥には廊下へと続く扉が上手・下手にそれぞれ一カ所ずつ。

1

男二人が何か話しながら廊下を歩いてくる。

鎌田 ほんとに急に辞令出されるから。びっくりするよ？
鞍馬 そんなにですか？
鎌田 (ドアの前で) あ、ここかな？
鞍馬 ここですね。

ジャージ姿の鞍馬と鎌田が下手扉を開けて入ってくる。
鎌田は、パンを頬張っている。

鞍馬 うわ、懐かしい。
鎌田 そういえば、またクラスの数減ったんだってな。
鞍馬 そうみたいです。今年から、1学年2クラスになったみたいですよ。
鎌田 少ないなー。
鞍馬 久々に入ったな、教室……ん？

鞍馬はイスの上のサッカーボールに気づき、それを手に取る。

鎌田 (パンを食べ終わり) 今年、採用されたんだもんね？
鞍馬 はい、そうです。
鎌田 だいぶ仕事慣れた？
鞍馬 ー、まだ、分からないことばかりで。
鎌田 そうだよー。あ、それで俺も春から異動させられてさ、
鞍馬 あ、はい。
鎌田 前日に急に言われてさ。

鞍馬 前日？
鎌田 そう、突然。「明日から郷土資料館の館長ね」って。
鞍馬 いきなりですか。
鎌田 いきなり館長。
鞍馬 あそこって人来るんですか？
鎌田 来ない来ない。小学校の見学くらいしか来ない。
鞍馬 ああ、社会科学か。行ったんだっけな……？
鎌田 あとはたまに近所のおばあちゃんが喋り倒しに来るだけ。
鞍馬 なるほど。

鎌田 そこに人を呼べって言われてもね。
鞍馬 何ありましたっけ？ 郷土資料館で。
鎌田 うんとね、まずロビーに入ると、左手に壁画があつて。
鞍馬 壁画？

鎌田 そう。昔書かれたっていう壁画を、洞窟の奥から岩ごと削り出して展示してあるんだけど。
鞍馬 石器時代のイノシシ狩りの様子が描かれてる。
鎌田 へー……え、石器時代ってすごくないですか？
鞍馬 ー、まあ、描かれたのは昭和なんだけどねー。
鎌田 ……え？
鞍馬 展示した後に発覚したんだけど、見に来た人が「あ、これ昔、俺が書いた奴だ」ってなつて。
鎌田 え、石器時代……。

ヘリクツイレブン

2020年版

鎌田 鞍馬 鎌田 鞍馬 鎌田 鞍馬 鎌田 鞍馬 鎌田 鞍馬 鎌田 鞍馬 鎌田 鞍馬

石器時代のイノシシ狩りの様子を、昭和の人が洞窟に描いたんだよ。で、それを平成5年に削り出して展示したんだよ。で、すぐに発覚したんだよ。それ、相当……まじくないすか？誰にも言っちゃダメだよ。これ、町役場の中でも5人くらいしか知らないから。それなんで僕に言うんですか！
(笑顔で) 6人目だ。
嬉しくないですよ！郷土資料館の暗部を覗いちゃったじゃないですか！いやでも、この町の人が描いている以上、郷土の資料には違いがないから。いや、その理屈はちよつと……。いいじゃない。「パンの日高」さんの作品なんだから。あの親父さんが描いたんですか！昔、絵描きを指摘してたんだって。あの店に行きづらくなりましたよ！

下手の扉が開き、横山と安藤小次郎が入ってくる。
二人ともジャージなどのトレーニングウェア。

横山 小次郎

おはようございます。
おはようございます。

鎌田 鞍馬

おはようございます。
あ、おはようございます。

横山 鎌田

早いね。
いや、あんま眠れなくて。

横山 鎌田

暑いもんなあ、ゆうべから。
今日の最高気温、37℃らしいですよ。

横山 鞍馬

うわー、やべえな。
(小次郎に恐る恐る) あの、おはようございます……。ん？ おざす。

小次郎 鞍馬

あのー……安藤さんすよね？
え、はい。

小次郎 鞍馬

え、はい。
サッカー部の……。

小次郎 鞍馬

ん、まあ、元サッカー部だったけど。
えと、僕もあの……志津高サッカー部です！ 38期です！。

小次郎 鞍馬

あ、そうなの？ サッカー部？ じゃあ……8個下だ。
よろしくお願いします！

小次郎 横山

あ、はい。
(鞍馬に) 君もサッカー部だったの？

鞍馬 横山

あ、はい。よろしく願います！
はい。ところで、朝飯食った？

鞍馬 横山

え、はい、トーストです。
トーストねえ。(小次郎に) 食った？

小次郎 横山

俺もトーストを。
(鎌田に) 何食ったの？

鎌田 横山

何も食ってないす。
おいおいおいおい。へばるぞ、あつという間に。ちよつと待ってる。

横山

横山、自分のバッグを探る。バナナをひと房取り出す。
(一本ずつもいで渡しながら) はい、バナナ。はい、バナナ。はい、バナナ。はい、バナナ。はい、剥いて。

横山

はい、食べて。

全員、バナナの皮を剥く。

横山 鎌田

(もぐもぐしゅつ) バナナは、ミネラルが豊富で、繊維質も豊富で、かつ消化しやすくてすぐにエネルギーになるから朝食にもってこいです。わかりましたか？
何言ってるか全然分かりません。

ヘリクツイレブン

2020年版

横山

いいから食べて。

馬本が入ってくる。トレーニングウェアだが、全ておしゃれな感じ。

馬本
その他

おはようございます。
(もぐもぐしながら)おはようございます。
ちよ、皆さん何やってんすか？

しかめ面でバナナを食いながら、馬本を見つめる四名。

横山

(馬本に近づき)朝飯食った？

は？ はい。

どうせトーストだろ。

どうせって何ですか。違いますよ。

じゃ、何食ったんだよ。

今朝は、エッグ・ベネディクトです。

……何？

エッグ・ベネディクト。

プロレスの技？

いやいや、半分に切ったマフィンにベーコンとポーチドエッグを乗せて、そこにオランダー
ズソースというのをかけたもので、

しゃらくせー！ (バナナを突き出し) いいから、バナナを食え。

いやですよ。バナナアレルギーですもん。

は？

(言い聞かせるように)バナナアレルギー！

嘘つけ、馬本！ そんなしゃらくせえアレルギーあるか！

ありますよ！

ウエーブがかかった長髪の杉山、ものすごく慌てた様子で走りこんでくる。

杉山

おざます！

杉山、荷物を放り投げ、また急いで出て行こうとするが、馬本が杉山を掴み。

杉山

え!?

バナナアレルギーってありますよね!?

え!?

バナナアレルギーって、ありますよね！

短い沈黙。

杉山

……だやす！(と言って馬本の腕を剥がそうとする)

なんて言っただんすか！ イエスカノーかを言っただんすか！

(泣きそうに)いいから離してえ……！

杉山くんは朝飯食った？

え!?! 食いましたよ！

お、何を。

ボンカレー！

ボンカレー？

朝カレーですか。

おお。朝カレーは意外と理にかなってるんだよ。エネルギーになるんだよ。

(苦しそうに)ただ……後からよくパッケージを見たら、賞味期限が7年ほど前に切れてた
ようで、ちよっと、今、お腹が……。

杉山以外、息を呑む。馬本、手を静かに離す。

杉山

(厳かに)行って参ります。

杉山、よろめきながら、上手扉の方へ。が、今度は横山が杉山を掴む。

ヘリクツイレブン

2020年版

杉山、鬼の形相で横山を見る。

横山 杉山さん、これを。(バナナを渡す)

杉山 ……え？

横山 万が一、紙がなかった時のために。

杉山 ……だやす！

杉山、思い切って走り去る。

小次郎

無事で帰ってくると、いいですね。

全員、杉山の去った方向に向かって敬礼。

そこへ女性3名、森、山口、片山が入ってくる。

森 おはようございます。

山口 おはようございませう。

片山 おちやうす。

男たち (敬礼を解き) おはようございませう。

横山 掃除終わった？

森 はい。

山口 終わりました。

馬本 掃除？

森 音楽室の。相手チームの控室。

馬本 あー、お疲れさまです。

片山 一応、うちら7時半集合だったんで。マジ眠いつすわー。

横山 お疲れさん。はい、バナナ。(片山にバナナを3本渡す)

片山 バナナ？

横山 栄養補給に。

山口 ありがとうございます。おいしそう！

横山 でしょ？

山口 はい。

森 私、大丈夫だから、二人で食べて。

片山 いや、ウチもいつすわ。(山口に渡す)

山口 え、なんでー？

片山 なんか、皮むくのだるいんで。

山口 あ、そなのー？ んー、でもさすがに3本は私も無理かなー。(鎌田に) あ、バナナ食べま

した？

鎌田 いや、まだ。

山口 良かったら、全部どうぞー。(3本とも鎌田に渡す)

鎌田 あ、いいんすか？

山口 どうぞどうぞー。

鎌田 いただきませう。

鎌田、バナナを食べ始める。

みんなそれぞれ雑談などしている中、八重樫が入ってくる。

八重樫 (消え入りそうな声で) ……おはようございませう。

横山 はい、バナナ。(突き出し)

八重樫 え、あ？ バナナ？ え？ え？

横山 はい、取って。

八重樫 え、え？ (手を出したり引つ込めたりする)

横山 早く！

八重樫 いや、あの僕、あのー、

横山 はい！(八重樫の口に無理やりねじ込む)

森 (バナナをくわえて) ……。

横山 横山さん、そろそろ時間ですけど。

森 はいはい。

横山 まだ全員揃ってないみたいです。

ヘリクツイレブン

2020年版

横山 九人？
馬本 あ、杉山さんが今、戦地に赴いているので。
横山 ああ、じゃあ生きて帰ってきたら十人か。誰だ、あと来てないの。
鞍馬 渡辺が来てないです。
横山 渡辺？
鞍馬 新卒の。
横山 あー。
片山 新卒のくせに遅刻とかなめてんね。
山口 若いとねー。私なんかもう、いつもお弁当あるから5時起きだもーん。
鎌田 あとは……。
森 萩さんじゃないですか？
馬本 ああ、萩さんだ。(教室を見直し) あれ、時計ないな、この教室。
鞍馬 空き教室だから外したんじゃないですか？
山口 (携帯を見て) 今、8時19分です
鎌田 (携帯を見て) 今、8時19分です
横山 じゃ、まだですね。20分集合ですもんね。
鞍馬 だな。
森 っ、どういうことですか？
鞍馬 萩さん。人は彼を「時の番人」と呼ぶ。
何の話ですか？
森 (足音に気づき) 来た。
鞍馬 え？

萩

おはようございます。

下手の扉が開き、萩が現れる。

と、学校のチャイム(登校時間)が鳴る。萩、腕時計を見る。顔が険しくなる。
萩は教室に入り、扉を閉める。チャイムが鳴り終わる。

さすが萩さん、集合時間ぴったり。
いえ！(苦々しく)学校のチャイム、狂ってます。

え？
4秒早いです。私のこれ(腕時計)、電波時計なんで確実です。4秒早いです。
4秒で。

私の計算では扉を締め切った時点で8時20分ジャストとなり、チャイムが鳴るはずだったんですが……。今のタイミングではギリギリ遅刻したみたいに見えてしまう……。

いや、それは……。
誰もそこまで考えてませんよー。
考えてください。

えー？
だったら、もっと早く来とけばいいのに。
ここで待ってる時間が無駄なので嫌です。一秒たりとも嫌です。
ね？
なるほど。

ところで、バナナをどうぞ。(萩にバナナを渡す)

バナナ？
食べて。

……何秒で？
いや、それは……。

杉山、爽やかな表情でバナナの中身のみを手にして戻ってくる。

すいませーん。すつきりしましたー。

間に合いました？

ギリギリセーフ！

間に合ってます。遅刻です。

え？

いや、その話じゃなくてすね。

ん？

杉山
馬本
杉山
萩
杉山
鞍馬
萩

山口
萩
山口
山口
森
山口
萩
片山
萩
山口
山口
鎌田
鞍馬
横山
萩
横山
萩
横山

ヘリクツイレブン

2020年版

小次郎 (杉山の持っているバナナを見て) 杉山さん、それ……。
杉山 (横山に) バナナ、ありがとうございます。
横山 あ、使ったんですか？
杉山 紙が5センチくらいしか残ってなくて。使わせていただきました。ただ、ぬるぬるして拭いてるんだか拭いてないんだかって感じてしたけど。
横山 説明しなくていい。
杉山 あ、すみません。いただきます。(食べる)
横山 ……。
萩 これで全員揃ったんですか？
山口 いえ、まだ渡辺さんが来ないみたいですよ。
萩 (明らかにイライラし) 渡辺？ どの？
小次郎 環境対策課の。
萩 ミーティング始めて下さい。時間の無駄です。
横山 ひとまず5分くらい待って
萩 時間の無駄です！ 時間の無駄です！ 時間の無駄です！
横山 はい。じゃ、ミーティング始めます。みなさん席についてー。

横山以外は各々、イスを並べて黒板に向かって座る。
横山は黒板にフォーメーション図を描く。詳細は説明しつつ書き加えていく。
プリントを片手に

横山 全員
横山 改めまして、おはようございます。
横山 おはようございます。
片山 生涯学習課スポーツ振興係・係長の横山です。今朝はお休みのところ早くからご苦勞様です。
横山 というわけで、毎年恒例になりました、志津山アンドレとの親善サッカー試合、今年で記念すべき十回目、十年目となります。今年もみなさん全員の母校である、ここ志津山高校のグラウンドを借りて開催となります。今日初めて顔を合わせる人もいますが、仲良く楽しくやってみましょう。
馬本 (ハイテンションで) イエーイ！ フウー！
横山 ……じゃ、早速ですがポジション確認します。FW(フォワード) 3人。センター、馬本。
横山 はい。
馬本 右ウイング、鞍馬。
横山 はい！
横山 元気いな、元・サッカー部。
横山 はい！
横山 あ、そうなんだ。
横山 そして左ウイング、渡辺……が、まだ来てないと。
横山 渡辺くんもサッカー部？
横山 いや、違いますね。よく知らないですけど。
横山 高校、同級生じゃなかったの？
横山 役場では同期になりますけど、僕は年離れてるんで。
山口 あ、そうなんだー。
山口 前に飲み会でチャットと話したら、バンドやってたとかって。カラオケでビートルズ歌ってた。
山口 渋いな。
鎌田 ビートルズ好きらしいです。ちよつとジジくさいすよね。
鞍馬 私も結構聞くんだけど、ビートルズ。いいじゃない、ビートルズ。
森 あ、いや、いいんですけど、
萩 (横山に) 先に進めてください！
横山 はい。じゃ次、MF(ミッドフィールダー) 4人。右サイド、森。
森 はい。
横山 左サイド、萩。
萩 はい。
横山 で、中央は安藤と杉山。
小次郎 はい。
杉山 了解しました。
鞍馬 安藤さん、期待してますよ。
小次郎 え？
鞍馬 得意のミドルシュート。

ヘリクツイレブン

2020年版

小次郎 ミドル？ いや、別に俺得意じゃないよ。
鞍馬 いやいやいや、知ってますから！
小次郎 は？
横山 じゃ、DF（ディフェンダー）3人。右・山口、左・片山、真ん中・鎌田。
鎌田 はい。
山口 はい。
片山 はーい。
横山 うす。
で、俺がGK（ゴールキーパー）です、と。以上。はい、呼ばれてない人いる？

八重樫、おそろおそろ手を上げる。

横山 あれ？ えーと、あれ？ 名前は？
八重樫 あの、えと、あの、八重、八重樫です。
横山 （ポジションを書いたメモを見て）八重樫……あ、控えだ。
八重樫 あ、あー。はい。あー。
横山 大丈夫大丈夫。まあ、誰もケガとかしなければ出ることはないから。
八重樫 あ、あー……。
山口 ん？ 出たいの？ 出る？ 変わる？
八重樫 え？ いや、あー、
山口 私、全然あれだから、出たかったら変わるけど、出る？ 出たい？
八重樫 いや、あー、えー、
山口 では、続いて今日の作戦を確認したいと思います。みなさん、昨日送ったメールの添付資料見てますねー。
山口 はい。
鞍馬以外 え、メール？
鞍馬 昨日送ったやつ。見てない？
横山 あ、あの、すいません……昨日、一昨日と出張で直行直帰だったので見てないです……。
横山 あ、そう。まあ、一応プリントしてきたけど。持ってきてない人。

荻・森・八重樫以外、手を挙げる。

横山 ほとんど忘れてんのか！ ったく……。

横山、スポーツバッグの中を探す。バナナがたくさん出てくる。

馬本 それ、ほとんどバナナでしょ、バッグの中！ 業者？

横山がバッグから書類を取り出そうとしている中、
スーツ姿の初老の男、渡辺が下手の扉を静かに開け、入ってくる。

渡辺 ……。

渡辺、自分のイスを上手から持つてきて、最後列に座る。

横山 あった、あった。バナナの下にあった。はい、じゃ、持ってない人に回して。

みんな口々に「バナナくさい」と言いつつ、書類を後ろに回していく

鞍馬、後ろに居た渡辺に気づき、書類を渡す。

横山 はい、じゃあ、安藤くんシナリオの部分、読んでください。
小次郎 あ、はい。（書類を読む）「9時、前半戦キックオフ。1. 前半15分頃、中盤で杉山からのパスを相手のMFにカットされ、攻め込まれる。ドリブルもしくはセンタリングを横山が阻止しようとするが抜かれてしまい失点。0-1。2. 前半30分頃、馬本がシュートに行くところを止められ、そこからカウンターで攻め込まれる。」
鞍馬 え……？

小次郎 「横山と相手FWが1対1となるが、抜かれて失点。前半を0-2で折り返す。休憩（15分間）。3. 後半開始10分頃、鞍馬が右サイドから安藤へセンタリング。ようやくシュート

を決め、1-2。恐らくこの後、アンドレ側の猛攻にあらうが、必死に追加点を阻止してみる。
4. 後半30分頃、ペナルティエリア内で鎌田がファウルをし、PK。横山はできるだけ逆

ヘリクツイレブン

2020年版

横山

に飛び、決められる。1―3。5. 後半40分頃、なんやかんやあって追加点を取られて、1―4。志津山アンドレの勝利で試合終了。片づけ後、解散。」

はい、じゃ、何か質問ある人。

鞍馬はシナリオを聞きながら、意味を図りかねていた。

不安になって周りを見回す。が、全員特に何のリアクションもなく、無言。

じゃ、特に何もないようなら、

(挙手し) あ、すいません。

はい。

あの、質問ていうか……あの……。

皆、固唾をのんで鎌田を見守る。

鎌田

後半30分に私がペナルティエリア内でファウルつてありますけど……どうやるの？

横山

んー、それはー、

片山

なんか、(押す動きをして) 横からエイってやりやいいんじゃないすか？

鎌田

エイって？

片山

エイって。

鎌田

分かりましたー。

横山

他には？

萩

はい。得点のタイミングについてももう少し正確な時間を設定すべきだと思いますが？

横山

いや、そこはむしろアバウトにお願いします。

萩

(嫌そうに) アバウト……？

馬本

試合の流れがありますもんね。あくまで目安でしょ、これ。

横山

そう、目安。

萩

(嫌そうに) 目安……。

杉山

いや、でも、目安にしても最後の「なんやかんやあって追加点を取られ」って適当すぎじゃないです？

森

そうですよね(笑)。

山口

私もそこ気になりました。

森

ごめん、最後の方めんどくなって(笑)。

横山

まあまあ、流れで何とかなりますよ。それより、後半に1点返すことになってますけど、これは大丈夫なんですか？

馬本

だってさ、ちよつとくらいこつちも抵抗しないと試合が盛り上がりませんか。去年、かなり白けちゃったじゃない。

横山

あ、去年ひどかったよねー。8―0だったけ？ しかもほとんど自殺点でしょ？

山口

ほとんどは言い過ぎ。3点だけです。

森

3点でも多いですけどね。

山口

その反省を踏まえて、今年はどうしてみました。あとはまあ、とにかく臨機応変にお願いします。

横山

ます。大筋を間違えなければ大丈夫だから。それじゃあ、そんなとこでいいかな？

山口

あ、はい。

横山

あの……ちよつと……事態があまり呑み込めてないんですけど……。

鞍馬

何？

横山

これって、今日の試合って、

鞍馬

親善試合だよ？

横山

ですよ？ 志津山アンドレと戦うんですよ？

鞍馬

戦うっていうか、まあ、うん。

横山

それで、この……シナリオって、何なんですか？

鞍馬

間。

横山

え、そこから？

小次郎

……だから、この通りにやってこの通り負けましょうってことだよ。

鞍馬

……負ける……って……何ですか？

小次郎

……。

鞍馬

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

小次郎

……。

ヘリクツイレブン

2020年版

森 鞍馬 山口 杉山 鞍馬 杉山 鞍馬 杉山 萩 横山 渡辺 鞍馬

だから、親善試合だから。
……分かんないです。
えっと、つまり……。

接待だからさ。

え？

簡単に言っちゃうと、接待サッカーだから。今日の試合。

はい？

志津山アンドレ……っていうか安藤建設に対しての、接待の、サッカー。それだけのこと。

……接待サッカー……？

うん。わかった？

……。

わかった？

……(腕時計を見て)あと27秒で8時半になります。グラウンドに出ましょう。

ああ、ていうか渡辺くんは？

あ、

(立ち上がり)すいません！

全員、鞍馬を見る。

サッカーの試合をやりませんか。

……何言ってるの？ みんなサッカーしに集まったんでしょ？

まともなサッカーをやりたいんです。

え？

こんなシナリオに乗ったサッカーごっこじゃなくて、真剣に試合をやりませんか……。

何言ってるの？

いやいや、真剣試合じゃなくて親善試合だから。

親善でも接待でもなんでもいいですけど、やるからには本気でやるべきだと思います。勝手に試合のシナリオ作ってその通りにやるとか、相手にも失礼だと思います。勝手

あ、さ、そういう考え方もあるかもしれないけどさ、

ちゃんと、試合に勝つための作戦を考えましょう。

うん、でも、横山係長もこうやって、シナリオ作ってきたわけだからさ、

そうだよ。

僕が新しい作戦考えます。

おい。

マジで!?

あー、んー、でもさあ、他の人はみんなこれで納得してるわけだからね、

あ、さ、もう時間無いんだって。

まだキックオフまで30分あります。

そういう問題じゃありません。突然何言い出してる？

僕はただ、普通にサッカーの試合をしたいだけです。勝ちたいんです。

そういうわけには行かないの。こっちが負けるって決まってるの。

……だったら、僕、試合出ません。

えー？

うわ、めんどくせえこと言い出した。このくそ暑いのに。

はじめっから負けると決まってる試合になんか出たくありません。

8時半です！ 行きましよう！ (立ち上がる)

僕、負けたくありません。

学校のチャイム(始業時間)が鳴る。

(苦々しく)また4秒早い……。

萩、出ていく。

先に行ってるぞ。とつとと来いよ？

横山も出ていく。それに続いて渡辺と鞍馬を除いた全員が出ていく。

ヘリクツイレブン

2020年版

2

鞍馬、残されたサッカーボールで、リフティングを始める。
渡辺、それをぼんやりと見ている。

おー、うまい！（拍手）

（リフティングを止め）うまくないですよ。

いや、うまいよ。

全然下手です。現役の時ならもう少しできてたんですけど。

現役？

高校の時。

ああ、サッカー部だったんだ？

ええ、まあ。

その時はどれくらい行けたの？

200回は軽く行きました。

そんなに!?

大したことないですよ。

いやあ、大したことだよ。それくらい出来ないとサッカーやっちゃいけないんだ？

やっちゃいけないなんてこと無いですよ。大体、リフティングはあくまで練習ですから。別にリフティング上手いから試合で活躍できるってわけでもないですから。

でも、出来ないよりは出来た方がいいでしょ？

まあ……。

でしょ？ 相撲、だつて土俵入りのうまい人は強かったもんね。千代の富士とか。そういうこ

とだよね。

……分かんないです。

え、違う？

土俵入りのことはちよつと……良く知らないんで。

あ、そう……。ところで、行かなくていいの？

……行きません。

どうして。

……話、聞いてましたよね？

うん、まあ。負けたくないんだよね？

一生懸命試合やって、それで負けるんだつたら別にいいんです。だけど最初からシナリオで

結果が決まってる、その通りに90分走って、で、負けて……そんなバカバカしいことに付

き合つてられますか？

そうねえ。だけど、みなさんの都合つてもあるしねえ。

都合？ 都合ってなんですか？ どんな都合があるんですか！

え、いや、それはちよつとよく知らないけど、

知らないんだつたら、黙つて下さい！ ほつといて下さい！

あ、ごめんなさい。

（我に返り）……ごめんなさい。

いや、ごめんなさい。

沈黙。

ていうか、あの……誰ですか？

……あ、

と、そこへ鎌田が戻ってくる。

鞍馬ちゃん。

はい？

来いって。

え？

早く来いって。

……行きません。

今日だけ我慢すればいいじゃん。今日っていうか、たったの90分だよ？

たったのって、そもそもなんでその90分を我慢しなきゃいけないんですか！

ヘリクツイレブン

2020年版

鎌田
鞍馬

だから、接待だって言ってるんじゃない。
なんでそこまでしなきゃいけないんですか！
いや、そこまでって、大したことじゃないじゃん、サッカーで負けるくらい。別に俺たち普
段からサッカーやってるわけでもないし。

鞍馬

そうですけど、
だって年に1回だよ、たったの。で、役場の寄せ集めチームだよ？

鞍馬

だからってわざと負けていいってことにはならないでしょ！？

鎌田

え、ならないの？ 俺、なると思ってた。

鞍馬

何ですか！ そもそも、なんで接待サッカーなんてやらなきゃいけないんですか。

鎌田

だってお前、相手は安藤建設だよ？

鞍馬

知ってますよ。

鎌田

この町で一番でかい会社の安藤建設さんだよ？

鞍馬

分かってますよ。

鎌田

自社ビルの屋上に意味不明なほど巨大なコアラの像が乗っかってる安藤建設さんだよ？

鞍馬

知ってますよ。夜、下からライトアップされて怖いやつですよ。

鎌田

そうだよ。午前3時33分に目があったら死ぬ、でお馴染みのコアラさんだよ？

鞍馬

そんな伝説知りませんよ！

鎌田

だから、安藤建設に逆らったらバチが当たるんだよ。

鞍馬

バチってなんですか。

鎌田

だから、色々あるんだよ。

鞍馬

ちゃんと説明してくださいよ！

鎌田

だから、もう、お前、めんどくさい！ 暑い！

鞍馬

色々あるっていう、その色々をちゃんと説明してくださいって言うてるだけですよ！

鎌田

うー……。

渡辺

だからさつき言ったじゃない。みなさんの都合があるんですよ。一言では言えないですよ。

鞍馬

別に一言じゃなくてもいいんですよ。最終的に納得できる説明をしてもらえば。

渡辺

それは難しいかもしれないなあ。複雑なあれがあるしねえ。

鞍馬

あれって何ですか。

渡辺

まあ、詳しくは知らないけど。

鞍馬

じゃあ、会話に入ってください！

渡辺

ごめんなさい。

鞍馬

鞍馬ちゃん。

鎌田

何ですか！ あと、さつきから急になんでちゃん付けなんすか！

鞍馬

ていうかさ……今、誰と話してんの？

鎌田

誰とって、鎌田さんと、この人ですよ。

鞍馬

え、誰？

鎌田

だから……えーと……誰でしたっけ？

渡辺

え？ そこに誰かいるの？

間。

鞍馬

え？

鎌田

ん？

渡辺

え……もしかして……見えていないんですか？

鞍馬

見えていない？

鎌田

その人が。

鞍馬

その人……？

鎌田

その人ですよ、その、だから、初老の男性。

鞍馬

初老の……男性？

鎌田

だから、そこに……。

鞍馬

そこに？

鎌田

そこに？

鎌田、静かに、いぶかしげに渡辺のいる方へと近づいていく。怪しい雰囲気。
渡辺が恐る恐る手を差し出し、

渡辺

私、見えて……ませんか？

ヘリクツイレブン

2020年版

鎌田は渡辺の前で立ち止まり、しばらく凝視する。
かと思うと、素早く渡辺の手を取り、

(サラッと) 見えてます。

良かった。

えー！

初めから見えてました。無視してただけです。

良かった、自分がほんとは死んでるのかと思いました。

大丈夫です。あと2年は大丈夫です。根拠はないですけど。

ちよつと！

はい！

何すか今の！ 今のやり取り！

なんかそういうのあるじゃん。ゴースト的な、もしかして幽霊だったりキヤーみたいの。

なんでそれをやったんですか！

ドキドキするかなと思って。

ドキドキしましたよ！

じゃあ、何より。

おい！

おいって言われた。

ふざけないで下さい！

おいって言われた。

この人と喋ってもラチあかないよ。

どっちもどっちじゃん。

じゃあ、ズバリ聞きますけど、もしもうちのチームの方が勝ったらどうなんすか。どんな都合の悪いことがあるんすか。ハッキリ答えてください！

……だから、安藤建設がね、

かったるそうに小次郎がやって来る。

おい。

はい？

みんな待つてるけど。

ほらー、また呼ばれたー。いいから早く行こうぜ。

あの……安藤さんにも聞いていいですか？

何を？

どうして、わざと負けなきゃいけないんですか？

……だから、親善試合だから、

さつきから親善試合、親善試合って、何なんですか。

楽しくやりましたよってことだろ？

楽しくないでしょう！ 負けたら楽しくないでしょ？

だから、こつちが負けるんだろ。

は？

向こうを勝たせて楽しませてやるために、こつちがわざと負けるんだろ？

それでいいんですか？

いいんじゃないの？

(無視して) サッカーですよ？ サッカーをそんな、なんか、駆け引きの道具みたいなもの

に使われて、悔しくないんですか？

いや、そんな、

あの！……こんなタイミングで言いたくなかったんですけど、僕がサッカー始めたのって、

安藤さんの影響なんですよ……。

は？

安藤さんが現役の時、天皇杯に出たじゃないですか？

え？ 安藤くんジョッキーだったの!?

違いますよ、天皇賞じゃなくて、天皇杯！ サッカーの大会！

おしい！

それに志津山高校が出場して、3回戦まで行きましたよね？

それってすごいのか？

すごいですよ。1回戦で、「何とか大学」に勝って、2回戦なんか、Jリーグのチームに勝ったんですよ？

ヘリクツイレブン

2020年版

渡辺 へー！ このチーム？
小次郎 「シッチーノ釧路」です。
鎌田 え、そんなチームあったっけ？
小次郎 ありますよ！ 釧路を拠点とした
北海道はコンサドーレじゃないの？
渡辺 昔はコンサよりシッチーノの方が強かったんですよ。
鎌田 オフィシャルスポンサーは魚市場？
鎌田 いや、スポンサーとかどうでもいいんですよ！ 重要なのは、プロに高校生チームが1―0
鞍馬 で勝ったんだって話です！ しかも、その時の得点を決めたのが、この安藤さんなんですよ。
小次郎 へー。
鞍馬 ……あのさ、
小次郎 しかも、ミドルシュートで決めたんですよ。まさに弾丸のようなミドル。キーパー反応でき
鞍馬 ず！ それをたまたまテレビ中継で見ていた小学生の僕！ そしてすぐにサッカー少年団に
小次郎 入った僕！
鞍馬 あ、そう……。
小次郎 ……えーと、
鞍馬 ……えーと、
小次郎 ところが、膝のケガがあつて、サッカーは諦めて町役場に就職した安藤さん……。
鞍馬 ……えーと、
小次郎 残念でした……。でも結局こうして違う部署ですけど同じ職場にいるって言うのが嬉しくて。
小次郎 僕にとつてのヒーローなんです、安藤さんは。それなのにどういふことなんですか！ 「わ
小次郎 ざと負ける」って。うちが勝つたら、何かまずいことがあるんですか？
鞍馬 それは……それぞれ立場によって違うだろうけど、
小次郎 じゃあ、安藤さんの場合でいいですよ。
鎌田 俺の場合……。
小次郎 え、それ、聞いちゃう？ それは聞いちゃダメだろ。
鞍馬 は？ 何ですか！
小次郎 だって、安藤だよ？
鎌田 安藤さんですよ。
鞍馬 ……相手、安藤建設だよ？
小次郎 そうですよ？
鎌田 ……え、天然？
鞍馬 は？
小次郎 知らなかった？
鞍馬 え？
小次郎 ……俺の親父、安藤建設の社長。
鞍馬 うん。
小次郎 えー！
鞍馬 お前、普通この町で安藤って聞いたら安藤建設とリンクするだろ。
小次郎 全然気づきませんでした。
鞍馬 そうなんだ。安藤さんこの息子。
小次郎 ええ、はい。
鞍馬 そうだったんだ……。
小次郎 あとさ……俺さ、その、さっき言つてた天皇杯の試合、出てないから。
鞍馬 は？
小次郎 それ、間違い。
鞍馬 いや、そんなはず無いですよ。記憶違いなんて、
小次郎 その試合で右サイドからミドルで決めたのは、俺の双子の兄貴の方。
鞍馬 はい？
小次郎 安藤武蔵の方だから。俺は、小次郎だから。弟の方。
鞍馬 え!?!
小次郎 で、俺は、3年間補欠だったから。その試合も出てないから。
鞍馬 それ、真面目に言ってます。
小次郎 真面目に言ってる。
鞍馬 ……あー。え？ じゃ、ケガをしたってのは……。
小次郎 それも武蔵の方だから。俺は普通に大学行って、役場に入ったから。
鞍馬 え、じゃ、双子のお兄さんっていうのは？
小次郎 今、安藤建設の専務だよ。たまたま役場にも来るよね。
小次郎 うん。今日の試合にも出る。向こうの10番。
鞍馬 (混乱し) そう……ですか……。

ヘリクツイレブン

2020年版

間。

小次郎

なんか……ごめんね。

鞍馬
鎌田

いや、すいません、こちらこそなんか。……あれ？　なんか、あれ？
どうした？

なんか、なんかよく分からないけど、涙が。涙が。何の涙か分からないですけど、涙が。すいません、ちよつと顔洗ってきます！

鞍馬、上手側から出ていく。

小次郎

俺の方がちよつと泣きたいけどな。

渡辺

(小次郎に近づき) 安藤さんのこの息子かあ。

小次郎

はい。あのー、あなたは……。

渡辺

え？　あ、渡辺です。ようやく言えた。

小次郎

渡辺さん。
いや、お父さんはね、昔からよく知ってるんですよ。

小次郎

ああ、そうなんですか。

渡辺

でももう、ずつと会ってないなあ。元気ですか？

小次郎

ええ、まあ。

鎌田

……あの、まさか渡辺さんって……今年新卒で役場に入った……？

渡辺

ああ、そうです、環境対策課の

小次郎・鎌田

えー！

渡辺

……なんですか？

小次郎

年離れてるって、そういうこと！

渡辺

はい？

鎌田

そっちに離れてるってこと！
なんですか？

渡辺

「じじくさい」とかのレベルじゃない！

小次郎

じじいそのもの！　じじい本体！

鎌田

純粹なじじい！

小次郎

ピュアじじい！

鎌田

そりや、ビートルズ歌うって！

渡辺

何の話ですか？

小次郎

ていうか良く考えたら年齢的にうちの採用試験無理ですよ。どうやって入ったんですか？

渡辺

え？　いや、年は22歳ですから。

鎌田

……そういう冗談では、笑わないことにしています。

小次郎

いいから、正直に答えてください。おいくつなんですか？

渡辺

あの、息子の……話ですよ？

小次郎

……息子？

渡辺

息子は、今年新卒で役場に採用されて……。

小次郎

……え。

鎌田

あ、息子さん、が？

渡辺

そうです。で、今日のサッカーに出るとい話で、

小次郎

ああ、そうか。失礼しました！　早とちりしました。すいません。

渡辺

そうですか……なんかさつき「ピュアじじい」とかなんとか、

鎌田

英語です。「ピュアジジ」っていう英語です。

渡辺

意味は？

鎌田

「エコロジー」と一緒です。

渡辺

へー。

小次郎

ところで、今日はどういう(ご用件で)？

渡辺

あ、あの、実は息子のことでご報告というか、ご連絡というか、

小次郎

連絡？

渡辺

実は息子が、昨夜から急に熱出しちゃいまして、

小次郎

え、コロナですか？

小次郎と鎌田、渡辺とソーシャルディスタンスを取る。

鎌田

しまった、さつきすでに握手を！

ヘリクツイレブン

2020年版

渡辺 いや、すぐに救急行ったら盲腸だったみたいで、緊急入院になってしまって。で、それが私
が来たんです。
小次郎 あ、そうだったんですか。
鎌田 良かった。試合中止になるところでした。

馬本がやってくる。

馬本 ちよつと何やってんですか！
鎌田 あ。また来た。
馬本 二人とも呼びに行つて全然戻つてこないから。てか、鞍馬はどこですか？
小次郎 向こうに泣きに行つた。
馬本 泣かしてどうするんですか。
小次郎 ところで、もう一つ問題発生した。
馬本 は？ 今度は何ですか？
鎌田 渡辺くん、来ないんだって。
馬本 来ない？
鎌田 盲腸になったんだって。
馬本 盲腸？
鎌田 それを、わざわざ伝えに来てくれて。渡辺くんのお父さん。
馬本 すいません。
渡辺 あ、渡辺くんのお父さんだったんですか？ てつきり、校長先生かなんかだと思つてました。
馬本 違いますよ。
渡辺 なんて入つてきたんだらうと思つて……ん？ てことは、二人もいないつてことですか？
鎌田 鞍馬がほんとに出なかつたらな。
馬本 そしたら、控えを入れても、十人つてことになつちやいますよ。
小次郎 そうだな……それはちよつと……。
渡辺 あ、それですね、

渡辺、おもむろにスーツを脱ぎだす。実はスーツの下にユニフォームを着ていた。
ただし、上はなぜか長袖を来ている。

渡辺 私が代打で。
三人 はい!?
渡辺 役場の皆さんにご迷惑かけるわけにはいかないと思つて、一応準備はしてきました。
小次郎 唐突に脱いだと思つたら、
馬本 それずつと下に着てたんですか？
渡辺 息子のユニフォームなんで、これで外歩くの恥ずかしくて。
馬本 持つて来れば良かったじゃありませんか！ そして、上、なんで長袖なんですか。
渡辺 いや、これはちよつと。
鎌田 ていうか試合に出るつもりなんですか？
渡辺 ルールはやりながら覚えます。みなさんの足を引つ張らないように一生懸命、頑張ります！
小次郎 いや、ちよつと、
渡辺 先にグラウンド行つてます！

渡辺、走つて飛び出していく。

鎌田 ……行つちやいました。
馬本 え、どうすんですか!?! あの試合に出すんですか？
鎌田 無理でしょ。死んじやうでしょ。
馬本 ですよ？
鎌田 でも、あれ本気だよな。
馬本 ですよな。
小次郎 とりあえず、一緒に行つて他の人にも説明しましょう。わけわかんないことになるから。
鎌田 そうだね。
小次郎 (馬本に) お前、ここ残つて、鞍馬が戻ってきたら説得して連れてきて。
馬本 え、今度は俺ですか？

小次郎と鎌田は渡辺を追いかけて去る。

ヘリクツイレブン

2020年版

馬本

……疲れるな、バカばかりで。

馬本、おもむろにポケットから携帯用電動歯ブラシを取り出し、歯を磨きたす。と、鞍馬が戻ってくる。顔を洗ってきた様子。

鞍馬

……あれ？

あ、帰ってきた。泣き終わった？

泣いてませんよ。あれ？ ほかの人たちは？

先にグラウンドに行った。

そうですか……。

そしてバババッドニュース！ 渡辺くん、熱出して来れなくなったって。

そう。だから、お前が出ないと試合できないわけ。

はあ……。

つーことで、じゃ、ヒア・ウィー・ゴー。(鞍馬を見る)

……なんなんですか、とつかえひつかえ説得に来て。

君が変な駄々こねるからだろ。もう、キックオフ10分前だよ？

……何度も言いますが、僕は出ません。

あのさー……勝ったからって何になるわけ、こんな試合に。

いえ、勝ちたいわけじゃなくて、

わざと負けようってのが気に食わないってことだろ？ 一回聞けば分かるって。何回も同じ

こと言わなくていいから。

いや、ほんとに分かかってるんですか？

分かってるよ。俺だつてわざと負けるとかくつだららないと思ってるよ。

え……そうなんですか？

さらに言えば、なんで役場の人間が一企業に色目使うためにわざわざ接待サッカーなんぞやらされなきゃいけないのか、全くもって理解に苦しむね。倫理的にもかなりグレーだし。

そう、ですよ。

なんていうか、プライドってものがないんだよ、うちの連中って。

それは僕もちよっと思えます。

あと、色々とセンスもないしさあ。

センスですか？

ポスター、ホームページ、ゆるキャラとかの広報関係は言うに及ばず、デスクの配置から、書類のファイリングの仕方から、食堂の日替わり定食の変わり映えのしなさから、言つてつ

たらきりがいいわけ。

ああ、確かにあのゆるキャラはひどいと思っていました。

ひどいよな？ 「しゝずん」。

「しゝずん」。志津山と、特産のレーズンをかけてるわけですよ。

しかも表記がさ、(黒板に「海ずん」と書き)読めないよ！ 何、このセンス！

キャラデザインもひどいですよね？ (絵を黒板に書く) こんなんですよ？

そう！ しわしわのレーズンに手足がついてるだけでしょ！

全然可愛くないすもんね！ イベントに出動しても一切こども寄ってこないすもんね。

こどもはしゝずんのこと、普通に「ウンコ」って呼んでるからね。

最悪ですよ。

最悪。そして、今日の接待サッカーも、最悪。

そうです、最悪ですよ！

ほんと胸糞悪い。最悪！ 最ッ悪ッ！

ですよ！

……という本音はさておいて、今日のところはやることやってさっさと帰ろうよ。

え？

お前が思っている以上に、面倒なんだよこういう話は。

どういうことですか？ 何ですか!?

俺、町議会で働いてるでしょ？ だから全部わかってんの。

え？

選挙なんだよ。結局。

選挙？

今の町長が安藤建設に選挙協力してもらってたんだよ。票集め。だから、変なことまでへそ曲げ

られたくないんだよ。

……え、それって、

鞍馬

ヘリクツイレブン

2020年版

武蔵

おい！

ユニフォーム姿の安藤武蔵（小次郎の双子の兄）が入ってくる。
顔は小次郎と瓜二つだが、かなりチャライ雰囲気醸し出している。

君ら何やってんの？ もう始めるぞ。早くグラウンド行け。
ん？ あれ？

俺、今便所行ってきたら、試合開始すつから。ゼッター。（出ていこうとする）
え、安藤さん、いつ着替えたんですか？

は？ 家からこれで来たけど。

え？ さっきは違う奴着てましたよ？

着ちやいねえよ。

え？ だって、

待て。あのー、武蔵さんですよ？

あ？ そうだよ。

ですよ。あのな、武蔵さんて、うちの安藤さんの双子のお兄さんの……。

え？ あ！

え、何？ こーちゃんと間違えたの？

こーちゃん？

小次郎。こーちゃん。そんな似てるか、あいつと？ 大体ユニフォーム見れば分かんたら。

すいません専務、新人なもので。

あ、そ。次からは間違えんなよ、ゼッター。

あ……あの、

ん？

今度は本物ですよ？

あ？

お前、何言ってるの？

ほんとに双子ですよ？ 実は三つ子とか無いですよ？

だから双子だって言ってるんだろ。

ということは、昔、天皇杯でミドルシュート決めたのって……？

は？

おーおー、懐かしいこと知ってるね。そうそう。シツチーノとの試合でな。

俺、あれ、テレビ中継で見てたんです。

マジで？ あ、そう。あれはかっこ良かったろ、俺。

はい、かっこ良かったです！

まさか向こうも高校生がああ距離から仕掛けてくると思ってなかったからな。あれは決まった時めちやめちや気持ちよかった。ゼッター負ける気しなかったかな、あん時。つって、

次の試合で負けたんだけどさ（爆笑）。

あのプレイを見て、サッカー始めたんです。ミドルシュート、すごい練習しました。

へー。じゃ、もしかして志津高サッカー部？

はい。38期です。

へー。後輩じゃん。

はい。

ボジションは？

ボジションは……一応、MFでした。

お、マジか。じゃ、俺と同じじゃん。ゼッター。

あ、はい。

じゃ、後輩のミドル楽しみにしてるから。

え？

ゼッター、ミドル撃ってくんだろ？ やっぱ。

え……あ……。

ん？ 何？ あ、もしかして出ないの？ 補欠？

いや、

（割って入り）出ますよ。FWですけど。

あ、そ。そしたら、今日の試合楽しみにしてるわ。

武蔵、出ていこうとする。と、武蔵の服を鞍馬が掴んで引き止める。

武蔵

ん、何掴んでんの？

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬
馬本
武蔵

……。
何やってんの？
放してくんない？ 俺、便所行ってえから。

鞍馬、一度は手を放すが、武蔵が出ていこうとするとまた掴む。

武蔵
鞍馬
武蔵

いや、何掴んでんの？ どういうこと？ ゼッターしっこさ半端ないって。(なぜか爆笑)
すいません、あの、ちよっと聞いて下さい。
何だよ。

武蔵

実は、うちのチームが八百長みたいなのしようとしてて、
は？

馬本

おい、お前、

鞍馬

そちらのチームが必ず勝てるように仕組んでるんです。わざと抜かれたり、わざとPK与えようとしたり、っていうシナリオ作って、今日は1-4で負けようって、

武蔵

何言ってるの？ (苦笑)

鞍馬

ほんとなんです！ 詳しい事情は俺もよくわからないですけど、接待試合とか言ってる、

馬本

おい、バカ！

鞍馬

黙ってて下さい！

武蔵

うるせえよバカ。

鞍馬

……あ……。

武蔵

ギャーギャー言うんじゃないよ。

鞍馬

すいません。

武蔵

知ってるよ。

鞍馬

……はい？

武蔵

知ってるよ、んなこと。最初から。

鞍馬

知ってる？

武蔵

わざと負けるために頑張ってくれてんだろ、毎年毎年。

鞍馬

……知ってたんですか？

武蔵

細くえ作戦まで聞いているわけじゃねえけどさ。不自然だもん、プレイが。ドリブルしてつた

馬本

ら結構よけてくれたからね。

鞍馬

そんなこと、するんですか？

武蔵

してたね。

鞍馬

……。

馬本

正直そんなことしてくれなくても勝ってっけどな。

武蔵

すいません。

鞍馬

……え、何謝ってるの？

武蔵

ですから、その……なんていうか、

馬本

何よ。

武蔵

そいつ、そういうのが、安藤建設さんに対して失礼じゃないかって言うんですよ。

鞍馬

え、そうなの？

武蔵

……あの、だって、ましてや武蔵さんみたいな人がいるのに、そんなふざけたこととして試合

馬本

に臨むなんてなんか、バカにしてるみたいっていうか、

鞍馬

(笑いなながら)ゼッター真面目だなー、お前。クソがつくほどゼッター真面目だな。

武蔵

いや、そんな、

鞍馬

でもさ、わざわざ下手な演技までしてうちら勝たせてくれようとしてる姿がさ……相当おもしろいんだよね。

武蔵

はい？

鞍馬

「どけるー」って言ってほんとにどける奴初めて見たもん。ひどい時なんか「転べ」つつつ

武蔵

たら転んだ奴いたからね。「転んだー」つつつてゴロゴロゴローって。あれは笑ったなー！

馬本

つつつても、さすがに去年のオウンゴール3連発は引いたけどな。あれはやり過ぎー。

鞍馬

……。

武蔵

ま、気持ちは嬉しいけどさ、もうちよつとうまくやって欲しいよね。

鞍馬

……。

武蔵

でも、ぶっちゃけ、今日はどういう無様なプレイが飛び出すかっつーのも楽しみにしてんだ

鞍馬

けどさ(笑)。あー、なんか長々喋ってたら、尿意消えたわ。とつとつ試合やるぞ。後輩。

武蔵

武蔵さん……そんなサッカーやって、楽しいですか？

鞍馬

……少なくとも、負けるよりは楽しいんじゃないかねえの？

武蔵

……。

鞍馬

ゼッターだよな(笑)。

ヘリクツイレブン

2020年版

杉山が駆け込んでくる。

杉山 おい、もう5分前だよ！（武蔵を見て）あれ。

武蔵 お。杉山バイセンじゃないすか。

杉山 ああ、どうも。

武蔵 そんな他人行儀な。今日はよろしくお願いします。

杉山 ああ、こちらこそ……。

武蔵 じゃ、先に行つてまーす。

武蔵、出ていく。

杉山 ……よし、じゃ、うちらも行くぞ。

鞍馬 ……。

杉山 ほら、向こうはもう揃つて待つてんだから。（窓の外のグラウンドを指す）

馬本、窓の近くに寄つて、グラウンドの方を眺める。

鞍馬 ……。

杉山 シカトするなよ。行こうよ。急いで。

鞍馬 ……。

杉山 試合終わつたら、お昼に「田の久たきゆう」のお好み焼きおごつてやるから。

鞍馬 ……。

杉山 奮発してデラックス玉おごつてやるから。あと……豚玉と。

鞍馬 ……。

杉山 焼きそばとビール付きで。あと、豚玉と。

鞍馬 ……。

杉山 もんじやもつけようか。あと、豚玉と。

鞍馬 ……。

杉山 イカ玉にしようか？

鞍馬 何玉だろうと釣られませんか！

杉山 ダメか……。じゃ、思い切つて焼き肉おごつてやるから。

鞍馬 あのですね、

馬本 鞍馬くん、行くぞ。試合やるぞ。

馬本 馬本さん、さっきの武蔵さんの発言聞いてましたよね？

鞍馬 聞いたよ。

馬本 あんなこと言われて、それでもまだ

鞍馬 だから、試合に勝てばいいんだよね？

馬本 ……え？

鞍馬 勝つための試合なら出るんだよね？

馬本 馬本くん？

あんな正面切つてボロカスに言われるとさすがにカチンと来た。自分で言うのもなんだけど、人一倍プライド高いからね、いい意味で。あんなにコンプライアンスの無い人に負けるとか、さすがに自分で自分が許せない。だから、勝とう。急に考え方変わりましたね。

鞍馬 変わったんじやなくて、ブラッシュアップしたんだよ。

馬本 はい？

鞍馬 試合、出るよね？

馬本 それなら……あ、でも他の人は。

鞍馬 これから急いで説得する。（杉山に）というわけでまずは杉山さん、コミットして下さい。

馬本 いや、さっきから何なの？ どういう話？

杉山 ですから、鞍馬も試合には出ますが、チームとしては勝ちに行きましょうってことです。

馬本 なんでそうなったの!?

杉山 今こそ、我々にとつてドラスティックなアプローチが必要なんです！

鞍馬 どういう意味？

馬本 僕もよく分かりません……。

杉山 杉山さんも試合はやりたいですよ？

馬本 そうだけど、

ヘリックツイレブン

2020年版

馬本
杉山
馬本
杉山
馬本
杉山
馬本
杉山
鞍馬
馬本
鞍馬

イエスかノーで答えて下さい。早く試合しないとまずいですよね？
イエス！
試合は勝った方が気持ちいいですよね？
イエス、だけど選挙のこととかさあ、
僕も杉山さんも町長選挙に出ませんよね？
イエス！ でも、
（ゆっくりと）だったら、選挙がどうなるうが別にいい
ノー！
はい、「選挙がどうなるうが別にいいのー！」って言いましたね。
イエス！ ん、え？
よし、これで三人だ。
いやいや、待って！ 今のノーは、「いいのー」の「のー」じゃなくて、
よし、次は誰を説得しようか。
聞けよ！
馬本さん。
俺に任せとけ。
変わり身が速すぎてちよつと怖いです。

横山と八重樫が話し合いながらやってくる。

八重樫
横山
八重樫

あの、僕、あの、試合、出るんですか？
いや、あの、ちよつと待ってくれ。
え、あの、

横山
鞍馬
横山

おい鞍馬！ もうキックオフの時間だぞ、急げ！
係長、

（杉山と馬本に）お前らも引きすつてでも連れてこい、バカ。もう9時だぞ！ アンドレはもう整列してんだぞ！ せつかく俺がシナリオ作ってやったのに、始まる前から向こうさんの機嫌損ねたら意味ないだろ！

あの、係長。
どういうつもりだ、ほんとに！ なんて来ないんだ、お前！
係長、行きます。

あ？

行きますから。な？

あ、はい。出ます。

（ため息）じゃ、グラウンドまでダッシュ！（走って出ていく）
ただし！

（すぐに戻ってくる）ただし？
……八百長なしで、真剣に勝ちを狙いに行く前提で。
……。

横山
鞍馬
横山
鞍馬
横山
鞍馬
馬本
横山
馬本
横山
鞍馬

横山、自分のバッグの中からバナナをひと房取り出し、鞍馬に向けて投げつける。

（投げながら）ふざけんなー！

（投げ返す）ふざけてませんよ！

（また投げ返す）それじゃ、さっき言ったことと、全く変わってねえだろ！

（投げ返す）意見変えたなんて言ってますせんよ！

（投げ返す）ヘリックツ言うな！

（投げ返す）ヘリックツじゃありません！

（投げ返す）うるさい！

（横からバナナを奪い、投げ返す）係長！

（馬本に返す）なんだ！

（投げ返す）やってやりましょう！

（投げ返す）何をだ！

（投げ返す）志津山アンドレに勝ちましょう！

（投げ返す）なに感化されてんだ！

（投げ返す）試合をやるからには勝利を求めるのが当たり前のことだって遅ればせながら気づいただけですよ！

（投げ返す）気づくな！

（投げ返す）係長も気づいて下さい！

横山
馬本

ヘリクツイレブン

2020年版

横山 (投げ返す) 黙れ!
杉山 (脇からバナナを奪い) ちょっと待った!

杉山、バナナを一本もいで、

杉山 (馬本に返し) はい、続けて! (バナナを剥いて食べ始める)
馬本 (鞍馬にパス) とにかく僕は、
鞍馬 (横山に投げる) 本気で試合します!
横山 (鞍馬に返す) ダメだっつってんだろ!
鞍馬 (馬本にパス) いいえ、やります!
馬本 (鞍馬にパス) やってやります!
鞍馬 (馬本にパス) 絶対、負けたくない。
馬本 (鞍馬にパス) あんなクソ野郎に。
鞍馬 (馬本にパス) あんな奴だと思わなかった。
馬本 (鞍馬にパス) 吠え面かかせてやる。
鞍馬 (馬本にパス) 安藤武蔵!
馬本 (鞍馬にパス) 打倒、アンドレ!
鞍馬 (馬本にパス) 打倒、武蔵!
馬本 (鞍馬にパス) 打倒、アンドレ!
横山 (馬本に投げる) 打倒、武蔵!
鞍馬 (鞍馬に投げる) このバカどもが!
馬本 (鞍馬に投げる) 杉山さんもです!
横山 (横山へ投げる) 三人です!
杉山 (杉山に投げつけ) 杉山、お前もか!
杉山 (投げ返すが) ……! (バナナを食って何言ってるか分からない)
杉山以外 バナナを食うな!
……食い物なのに……。

ドアが勢いよく開くと、鬼の形相の萩が立っている。心無しか光って見える。

萩 9時ちょうどをお知らせします!

萩、ドアが静かに閉まっていく。

横山 ……お前ら、急がないと安藤建設と萩さんの怒りが爆発するぞ。
馬本 じゃ、行きましようよ。で、とっととやりましようよ。
横山 シナリオ通りに?
鞍馬 それは断固拒否です!
横山 じゃ、意味ねえんだよ! 次から次へと……変なじいさんも試合に出るって騒いでるし……。
馬本 じいさん?
鞍馬 あ、忘れてた。
八重樫 あの、で、僕は、結局、僕は、出るのか、出ないのか、
横山 お前はちょっと黙ってる!
八重樫 いや、でも、その……。

森、山口、片山が入ってくる。

森 横山さん、安藤専務がどういうことになってるのかって……。
横山 んー……とりあえず、もう少し待ってもらって来る! (出て行くとする)
八重樫 か、係長、
横山 森さん、こいつら説得して!

横山は八重樫を無視して出ていく。

八重樫 (取り残され) あ、あのー……。
森 鞍馬くん、まだ出たくないって粘ってるわけ?
鞍馬 いえ、出ます。
杉山 ただ試合には出るけど、負ける気は無いって言ってます。
山口 負ける気はない?

ヘリクツイレブン

2020年版

馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本

はい、言いました。
それはどうしてですか？ 納得できる説明をお願いします。
分かりました……。 (軽く咳払いをして) いいですか？ 今日の親善試合の目的は、安藤建設との親交を深めるのが目的ですよ。そこに異論はありません……。
だったら、

森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本

ですが！ で、あればこそ！ 真剣勝負で戦う方が白熱した試合展開になり、90分後の充実感がさらに増すとは思いませんか？
だけど、万が一向こうのチームが負けちゃったら元も子もないでしょう。
だったら、こっちが勝ちそうになったらオウンゴール連発しちゃえばいいでしょう。
そんなヤラセ丸出しのようなことしたから、去年白けちゃったんでしょ！
しかしですよ？ 私たちはサッカーのプロでもなければ、演技のプロでもありません。いち地方公務員に過ぎません。なのに、ヤラセサッカーなどという難しいタスクをこなせると思う方がおかしいんですよ！

森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本

いや、そうかもしれないけど、
大体、向こうだって、こっちがわざと負けてるって承知の上なんですよ？
承知の上？ って、どういうこと？
さっき、ここに武蔵さんが来て、
え、武蔵さん来たの？

森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本

(口調を真似して)「わざと負けようとしてるのは分かってる」って。
分かってる？
それで僕が「そんなの楽しいですか？」って聞いたら、「負けるよりは勝つ方がゼッター楽しいよな」って、思いつきりバカにされました。
マジか！
そういう言い方は良くないな……。
んー……。

森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本

ひどいでしょ!?(誇張したモノマネをして)「今日はどういう無様なプレイが飛び出すか楽しみだぜウエイ」とか。
そんなことまで？
いや武蔵さん、そんな言い方しないでしょ。
他にもまだ言われましたよ!(さらにひどいモノマネで)「お前らのサッカーは、ゼッター負け犬サッカー。生まれた時からカス人生ってゼッター決まってるっつーのー! ゼッター!(爆笑)とか。
ちよつと待て、
そこまて言うか!
いやお前「ゼッター」って言いすぎだから!
だって実際言ってましたもん!
言ってたとしても、そんな言い方じゃねえから!
いや、こうですよ!(アホな顔をして)「ゼッター!」
(激怒し) 武蔵さんバカにしてんじやねえぞ、おい!

森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本
森 馬本
馬本 馬本

え……？
許さねえからな、ゼッター!
は？ いや、なんで、
(片山を抑え) ちよつと、キレないでー!
離してよ!

馬本、鞍馬を引っ張って

馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本

ダメだよ、これから説得するクライアントを怒らせたらいだ、だ、だ、だ、
彼女、武蔵さんのこと好きらしいんだよ。
えー!? なんで!
ヤンチャな男子系好きな系女子なんだよ。
は?

馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本

じゃなかったら、日曜のこんな朝からサッカーしに来ないって。
つまり、武蔵さん目当てだったことすか?
そゆこと。
ある意味、鞍馬くんと一緒だね。
いや、僕はもう

馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本
鞍馬 馬本
馬本 馬本

(大声で) 話戻しますよ!

ヘリクツイレブン

2020年版

みんな森を見る。短い沈黙。

森 (鞍馬たちに) あなた方の気持ちは分かりません。ですけど、それは子供の理屈です。詭弁です。社会人として、他人に迷惑かけてまで突き通すような立派なものじゃありません。何を迷惑かけてるんですか。

鞍馬 みんなを待たせてるでしょう!?! 試合開始を遅らせて。まだ少しですよ。

森 荻さんの髪の毛が逆だつてきてますよ。荻さんで地球人じゃないんですか?

森 早く行きなさい。

鞍馬 ……みなさんが真剣勝負をすることを認めてくれれば今すぐピッチに

森 チームの和を乱すようなことは認められません。

山口 そうですよ、和は大事ですよ……。

鞍馬 和を乱さなければいいんですか? 不正に対して目をつぶるのが正しいことですか?

山口 いや、不正って、

鞍馬 不正でしょう!

森 そんな簡単に正しいか正しくないか決められないこともあるの。

鞍馬 選挙がらみなんですよ、町長が、安藤建設に選挙協力をお願いしてるって。

森 それ……も、あります。

鞍馬 つまり、次の選挙のことを考えて、いろんな形で恩を売っておこうってことですよ、それに付き合わされてることなんですよ、

森 それだけじゃないし、今に始まったことじゃないの。ずっと前から、今の町長だけじゃなく

森 て、町の行政の色んなところで安藤建設が係わって動いて来てるの。だから、些細なことであつても、いざこざの火種になるようなことは極力避けるべきなんです。

鞍馬 だから、これからもずっと向こうの顔色伺って、媚びへつらうって行くってことですか?

森 ……媚びへつらうって、

鞍馬 なん、か、そういうのって……かつこ悪くないですか?

森 (ため息) ……ほんと……子供だね。

鞍馬 バカガキ!

片山 (カチンと来て) ……じゃあいいでちゅ。時間がないなら、もう行きまちなう。どっちに

鞍馬 ろ試合には出るって言うてんでちゅから。

馬本 ムキになり過ぎ!

馬本 ちやいあぐ

鞍馬 ちゃんたん

杉山 最悪、この3人だけでもゴールを狙っていきまちなう。

八重樫 だから俺を巻き込まないでくだちやい!

森 あの、僕、僕、

鞍馬 いい加減にしなさい!

鞍馬 行きまちなう!

と、鞍馬は勇んで部屋を出ていこうとするが、馬本に止められる。

馬本 鞍馬、それはダメだ。

馬本 は?

馬本 せめて過半数以上のコンセンサスを得ないと。

馬本 コンチエンチャチュ?

馬本 だから、同意を得るって言うてんだ。

馬本 何ですか。

馬本 この場だけじゃなく、役場での今後の立場も考えないと。大義名分として認めてもらわない

馬本 と、単なる個人的なエクスキューズに

馬本 何を急にひよってんですか!

馬本 そうじゃない。冷静になれ!

馬本 冷静ですよ! 大丈夫です!

馬本 大丈夫じゃないよ、その感じは!

馬本 大丈夫ですよ!

と、廊下(上手奥)から渡辺の声が聞こえてくる。

ヘリクツイレブン

2020年版

渡辺（声）

大丈夫ですって！

一同、声の方を向く。

3

上手のドアが開くと、小次郎と鎌田が二人がかりで渡辺を引っ張ってくる。

小次郎

大丈夫じゃないですって。

渡辺

やらせてください！ ご迷惑はかけませんから！

鎌田

無理ですって。試合中に倒れたら、それこそ迷惑だから。

渡辺

倒れません！

小次郎

ちゃんとサツカーやったことないんでしょ？

渡辺

ボーリングはそこそこ。

小次郎

関係ないです！

渡辺

玉を転がすという共通点が。

鎌田

それ以外全部違う！

渡辺

アベレージ180くらい行きますよ！

小次郎

すこいけど、何の役にも立ちませんよ！

渡辺

手使えないし！

馬本

あー、そうですね。

杉山

こつちの問題もあった。

鎌田

まだ出るって言うてんの？

杉山

そうなんですよ。

渡辺

お父さん、おとなしく帰ったら？

杉山

でも、息子の代わりがないと試合できませんよね？

杉山

いや、まあ、そうなんですけど……（八重樫に気づき）あ、でも控えがいるのか。

八重樫

え、あの、僕、出る、あの、あの、あの、出るんですか？

杉山

そうだねえ、

渡辺

（割り込んで）出ます！

鎌田

いや、だから無理ですって！

杉山

熱中症とかになったら、それこそ命取りですよ。今日、朝から30℃超えてるんですから。

渡辺

大丈夫です！ 暑くありません！

杉山

汗びっしょりでそんな言われ方しても。

渡辺

これは冷や汗です。

杉山

いやいや。

小次郎

長袖着てるからでしょう。

八重樫

いや、これは……ものすこい寒がりなんです。

渡辺

寒がりの割には下半身お留守じゃないですか。

鎌田

いや……上半身は寒がり、下半身は暑がりなんです。

八重樫

どんな生物なんですか。

渡辺

とにかく大丈夫ですから。（八重樫を指し）彼が出ますから、今日のところは

八重樫

あ、やっぱり、やっぱり、僕出る、出るんですか？

渡辺

え、嫌なの？

八重樫

あ、いえ、いや、嫌とかじゃ

鎌田

嫌そうですよ、その人。

八重樫

え？ いや、あの、

杉山

出たくないんですよ？ はっきり言っていんだよ。

馬本

いや、あの……僕、試合、出たく、な、なくないです。

森

え？ ……え!?! 聞かなくていいから、渡辺さんにも出してもらって、鞍馬くんが控えに残って。

鞍馬

……え!?! 聞かなくていいから、渡辺さんにも出してもらって、鞍馬くんが控えに残って。

森

これが一番丸く収まるでしょう。

ヘリクツイレブン

2020年版

片山 あー！ それがいいすわ！
山口 なるほどー。
鞍馬 いや、ちよつと待ってください！
森 行きましょう。

渡辺 はい！
小次郎 いや、渡辺さんは無理だつて！
渡辺 無理じゃありません！ 根性は誰にも負けませんから！
小次郎 今どき根性とか言われても、
鞍馬 いいですから、僕出ますから！
森 でも、言うこと聞かないんでしょう？
鞍馬 聞きませんよ。

八重樫 だったら、控えてて。
鞍馬 嫌ですよ！ なんで僕の代わりがこの人たちなんですか！
森 え、あの、

鎌田 (ムツとして) そういう言い方は
鞍馬 あ、ごめんなさい、つい、
馬本 まあでも、安藤建設側から見たら、FWに一人だけ白髪の老人が混じってるっていうのは、
山口 バカにしているように見えなくも無いかなー。

渡辺 (さらにムツとして) そんなことないですよ！
馬本 人間って、自分のことが一番わからないものですからね。
山口 馬本さんまでそんな、
杉山 いや、そういう決めつけは良くないよ！ 人間、年齢や見た目だけじゃないんだから。
渡辺 そうですよ。
杉山 じゃあ、試しに走ってみますか？
渡辺 簡単な体力テストも兼ねて。動けるっていう証拠を見せれば、みんな納得しますし。

鞍馬 ああ……じゃあ、はい。
杉山 いや、でも、
渡辺 そしたら、その場がいいんで、全力で足踏みしてもらっていいですか？
杉山 え、どういことですか？
渡辺 だから、こうやって。

杉山、その場で全力足踏みの見本を見せる。

渡辺 ああ、なるほど。
杉山 じゃあ、1分お願いします。
渡辺 ああ、1分でいいんですか？
杉山 はい。じゃ、用意、スタート。

渡辺、その場で足踏みし出す。15秒くらいで限界が来る。
よろけて倒れてしまう。鎌田が支える。

鎌田 ほら、言わんこつちやない！
杉山 ごめんなさい、もういいです！
渡辺 (息が完全に上がっている)
山口 大丈夫ですか？ 喋れます？
杉山 (ようやく喋れる) は、はい……あ、暑い……。
渡辺 だから、長袖着てるからですよ！ ほら、袖まくって！
渡辺 あ、

杉山、渡辺の袖をまくと、龍の入れ墨が出てくる。全員固まる。

杉山 (首をかしげ) ……これ、は……何ですか？
渡辺 これは……龍です。
杉山 なんて、龍ですか？
渡辺 ……辰年生まれなんで。
杉山 ……落ちるやつですか？
渡辺 落ちない奴です。本物です。
杉山 ……。失礼いたしました！

ヘリクツイレブン

2020年版

杉山・渡辺以外　　えー！

渡辺から一斉にみんな遠ざかる。

渡辺　……いや、あの、私はもう現役ではないので、
すんません！　ほんまにすんません！
……。

山口　え、もしかして、息子さんも……？

渡辺　いえ、息子は全然関係ありません。私だけです。というか、あいつにはずっと会えてません
でしたから。(苦笑しつつ)　長期出張してたもんで。

八重樫　ちよ、長期、出張？

渡辺　網走行ったり、月形行ったり。

片山　網走に月形……。

鎌田　あれだ、アルファベットで「K」から始まるところだ……。

鞍馬　漢字でも「刑」からです……。

渡辺　先月、ようやく帰ってきたところなんです。

山口　えっと……お勤めご苦労様でしたー！

……息子にはずっと迷惑かけっぱなしだったんで、今日はようやく親父らしいところ見せられるチャンスだと思っまして、それで勇んで来たんですけど……やっぱり無理がありましたね。すいません。失礼致しました。

渡辺、静かにドアに向かって歩いていく。

片山　あ、あの、帰っちゃうんですか？

渡辺　ええ。帰って家庭菜園の作業でもやります。

片山　あ、そ、そうですか……。

渡辺　頑張ってください。

片山　ちよっと待ってください！

渡辺　はい？

片山　あの……帰らないで下さい。

渡辺　え？

片山　一緒にやりましょう、サッカー。

森　え、何言ってるの、片山さん。

渡辺　いや、でも、

片山　出て下さい。

山口　どうしたの、急に？

渡辺　やっぱりこんなもの(刺青)つけて、皆さんと出るわけには行きませんよ。

片山　いえ、カッコいいですよ！

渡辺　え？

片山　すごい、もう、カッコいいです！　ガンガン見せちゃって大丈夫です！　素敵です！

渡辺　(やや、戸惑い)　え？

杉山　そうか。ヤンチャな男子系好きな系女子だから。

馬本　いや、ヤンチャという枠からみ出してませんか？

鞍馬　(何かを閃き)　そうか……！

馬本　ん？

鞍馬　渡辺さん、

片山　あ？

鞍馬　僕からもお願いします。出て下さい。

渡辺　え、いいんですか？

片山　いいの？

鎌田　いやお前、自分が出ないからって、そんな無責任なこと言うなよ。

鞍馬　僕も出ます。出ることにしました。

鎌田　え、そうなの？

鞍馬　本気で勝ちを狙いに行くんで。

小次郎　は？

鎌田　そういう話になってんの？

鞍馬　馬本さん、杉山さんは賛同してくれました。

小次郎　マジで？

杉山　いや、何度も言うけど俺は

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬 仕事じゃないですよ！
山口 そうなんですかー？
森 仕事です！
山口 そうですよねー？ うーん……。

停滞した空気。

小次郎 ……あのさ……。
鞍馬 はい？
小次郎 ……なんでそんなに必死なの？
鞍馬 はい？
小次郎 たかが草サッカーの親善試合だよ？
鞍馬 ……。
小次郎 なんでそこまでムキになってんだよ。確かに、シナリオ渡されて、この通りやって負けて下さいとか言われてもさ、嫌な気持ちになるだけってのは分かるよ。でもさ、
鞍馬 それだけじゃありません。
小次郎 じゃあ、何？
鞍馬 ……安藤さん……小次郎さん、補欠だったって言ってましたよね？
小次郎 ……そうだけだ。
鞍馬 俺もそうでした。高校3年間、補欠でした。
小次郎 ……はあ。

鞍馬 武蔵さんの影響で、少年サッカー始めて、中学、高校とずっとサッカー部で……。でも、高校に入ってからずっと補欠で。高3になった時点で、レギュラーとれてない奴らはほとんど引退してました。でも僕は、なにか、どっかにチャンスがあるんじゃないかと思ってやめられなくて。でもその内、練習試合どころか、部活内の紅白戦すら出してもらえなくなっていく……いつの間にかサイドラインの外側でリフティングしてるだけになってました。結局、才能が無かったんだと思います。

小次郎 才能……？
鞍馬 高校卒業して、なんとなく就職して、何年かぼんやりサラリーマンやって……よく分かんなくなつて地元戻ってきて役場入って……。そしたら先週ですよ。急に上司から「サッカーの試合出てくれ」って言われた時に……。急にバーって、感情が蘇って来たというか……。ずっとサッカーから離れてたのに、ピッチの感触とか、ボールの感触とかがブワーって戻ってきて、すげえ興奮して、嬉しくって……。やっぱサッカー好きだったんだって思ってた……。
鞍馬くん……。
小次郎 なのに……。なのに、来てみたら負けなきゃいけないとか、憧れてた人にバカにされたりとか……。悔しいんです！ ものすごく悔しいんです！

鞍馬、小次郎に頭を下げて。

鞍馬 お願います。一緒に、サッカーをやって下さい。
小次郎 ……えーと……。つーか何？「同じ補欠だった者同士だから、自分の気持ち分かるでしょ？」って言いたいのか？

鞍馬 ……え？
小次郎 分かんねえよ。知らねえよ。そんなの。
鞍馬 あ、いや、
小次郎 一緒にしないでくれる？
鞍馬 いや……。別にそういうわけじゃ……。
小次郎 自分にサッカーの才能が無かったって分かったんだろ？ だったら今更ムキになってんじゃねえよ。才能が無いなら無いなりに謙虚にしてろよ。
……。
鞍馬 あ、そう。

馬本 あの、そういう言い方は無いんじゃないですか？
小次郎 じゃあ、どういう言い方だったら納得するんだよ。結局こいつはさあ、自分の中のわだかまりを捨て切れないだけだろ？ そんな中途半端な奴に同情なんかすんなよ。
馬本 ……俺は別に、こいつに同情なんかしてません。ただ、武蔵さんに暴言吐かれたから腹立つたから、試合に勝ちたいっていつてるだけです。

小次郎 あ、そう。
馬本 ……。
杉山 ……でもさ……。お前もわだかまりの一つや二つあるんじゃないの？
小次郎 (杉山を見る)

ヘリクツイレブン

2020年版

渡辺
杉山

小次郎

鎌田

杉山

鞍馬

杉山

森

鞍馬

杉山

馬本

杉山

八重樫

杉山

渡辺

杉山

小次郎

山口

小次郎

杉山

馬本

杉山

鎌田

鞍馬

杉山

杉山

小次郎

杉山

小次郎

杉山

小次郎

杉山

小次郎

杉山

小次郎

杉山

八重樫

馬本

杉山

鞍馬

杉山

小次郎

杉山

小次郎

杉山

鞍馬

森

鞍馬

森

鞍馬

八重樫

森

八重樫

八重樫

いっばいあります……。
お父さんじゃなくてですね！ ……いや、もう、ずいぶん前のことだから、はつきり覚えてるわけじゃないけど……お前も現役の頃はずっと不満そうな顔してたじゃん。自分でも気づいてなかったかもだけど。
……。

え、昔のこと知ってるの？

うん。実は俺も……志津高サッカー部だったんだよね。

え……そうなんですか？

安藤兄弟の2個上。一応、28期サッカー部キャプテン。

キャプテン？

ホントですか？

ホント。

ホントにホントですか？

ホントだって。

ホントですか？

これ、全員に聞かれるの？

決めつけは良くないですよ。人間、年齢や見た目だけじゃないんですから。

ありがとうございます！

本当です。2個上の背番号10番。サッカー部キャプテンにしてエースでした。

エース？

……決して高くない身長。決してスリムではない体型。なのにディフェンダーを一瞬にして抜き去るテクニクと圧倒的なドリブルのスピード、そして何より強烈なミドルシュート。

そのプレイスタイルから「志津高のマラドーナ」と恐れられていました。

あまり嬉しくなかったけどね。

でしょうね。

自慢じゃないけど、高校の時から全く体型変わってないからね。

ほんとに自慢じゃないね。

あ、じゃあ、もしかして武蔵さんのミドルシュートって、

まあ、ね。元は、俺の、アレだったんだけど。あいつが継いでくれたっつーか。

そうですか……。

武蔵はとにかく負けん気の強い奴でさ、すぐにムキになるんだよ。特に小次郎も混じって紅

白戦やったりすると、敵だろうと味方だろうと、とにかくいつには負けられねえって感じで……。でも、こつちの方は……誰かに遠慮してるように見えた。

……そんなことしてませんよ。

俺にはそう見えた。

いいですよ、昔の話は。

昔の話かな？

そうですよ。

今もだと思っただけだな。

……何言ってるんですか。

お前だってほんとは、レギュラーとりたかったんじゃないの？ 頑張ってみたかったんじゃないの？

ないの？ でもお前は部活の時は、ずっと自分を抑えてたよな？

お、抑えてた……？

何のために。

武蔵のために。

武蔵さんの？

そう。あいつを、兄貴としてバックアップしてやるために遠慮してたんじゃないかって。

勝手な憶測しないで下さい。武蔵にはサッカーの才能があつて、俺には無かっただけです。

それは、

それは違うんじゃないですか？ ……だって、双子ですよ？ もちろん、性格とか違う部分もあるんでしょうけど、小次郎さんにだけ才能が無いなんてことは……。

才能がどうか、くだらない。どうでもいい。

……え？

才能のありなしなんて関係ない。努力し続けられる人間が、チャンスを得るの。努力しな

れば一緒！ それを誤魔化すために、才能があるとかないとか言ってるだけ。

……。

……いや、でも、あの、努力しても、やっぱり、ダメな場合も、やっぱり、

あなたは何をどれくらい努力したの？

え？ え？

ヘリクツイレブン

2020年版

森
八重樫
森
八重樫

杉山

自分が納得できるだけの努力をしたの？
あ、いや、あの……。
そうじゃなかったら、悟ったようなこと言わない方がいい。
……。
……本当にわだかまりのない人間なんて、そんな強い人間いないって。みんな年を取っていくうちに、それを誤魔化すのが上手くなっていくだけなんだよ。知らず知らず自分の中でヘリクツをこねて、元が何だか分からないように隠したり、押し潰したり、そういうことして生きてんだよ。

……分かりますけど、でも、それって、
かっこ悪いよ。すげえかっこ悪いよ。ただ、それも認めたくないんだよ。今日のサッカーで何のために負けなきゃいけないのか、正面切って答えられる人間なんてこの中にいるか!?

沈黙。の後、杉山がえびき、倒れる。

鞍馬

杉山

鞍馬

杉山

片山

杉山

鞍馬

馬本

鎌田

馬本

鞍馬

鎌田

馬本

馬本

鎌田

馬本

鞍馬

鎌田

馬本

馬本

鎌田

片山

八重樫

鞍馬

八重樫

八重樫

森

山口

山口

八重樫

山口

八重樫

馬本

片山

山口

森

山口

八重樫

山口

八重樫

馬本

山口

八重樫

杉山

八重樫

杉山さん！
……どうやら、俺のシリアスな感じの限界的な時間が来たようだ……！
なんですか、それ！
これ以上は無理です……！
何が？

鞍馬くん……俺も久々に本気出してみるよ……どれくらい体力持つか分からないけど……。
すでに息も絶え絶えじゃないすか！
とにかくこれでまた一人

いや、二人だ。
え。

鎌田さん？

私も、そちらの仲間に入らせてもらう。

本当に？ どうして？

……どうしてかな……今、そっちに入る流れの方が……かっこよさそうだったからかな。

ん？

ん？

うん。

(割り切って) これで7名だ。

よし！

そんな感じでいいんですか？

こだわりの無いのが、私のこだわりです。

言い方だけはカッコいいな。

(恐る恐る手を上げて) ……あの……僕も、一つ、あります。わだかまり……。

ん？

僕も……試合、出たいです……！ 出して下さい！ 僕あの、あの、いつも、こういう時に

手上げられなくて、やりたくないならいいよ、って言われて来たんですけど、その……本当

は、気持ち、やりたいってなってる、でも、あの、別に、サッカー上手いとか、出来ると

か、そういうんじゃないんですけど……。あの……ダメだったらいいんですけど……。

いや、ダメじゃないすよ！

そうか、君出たかったんだ？

いや、いや、どうしてもじゃないんですけど……。

なぜトーンが下がっていく。

はつきりしねえな、もう！

あ、だったら私控えになる！

え？

私は逆に、こういうのダメだから、私の代わりに出してもらって。ね？

あ、その、いいんですか？

むしろお願いしますー。出て？

あ、じゃあ、それなら、はい。

では、お二人も我々の仲間ということでもいいですか？

あー、はい……。

は、はい。

それじゃ、後は……。

みんな、自然と森と小次郎の方に視線が行く。

ヘリクツイレブン

2020年版

森 ……
小次郎 ……何のために……？
鞍馬 ……
小次郎 ……何のためにそこまで……いまさら……こんな試合に勝ったところで……
渡辺 「いまさら」なんてありませんよ……。人間はいつからだろうと、覚悟さえあれば、自分を
変えることが出来ます。私はそう信じてます。
……。

小次郎 ……
片山 ……
森 ……
鞍馬たち ……本当に、皆さんその覚悟はあるんですか？ 現状を変えようという覚悟は。
……あります！

森 ……本当に、試合に勝てるんですね？

鞍馬 勝つかどうかじゃありません。勝とうと思うかどうかです。

森 いえ、やるなら勝たなきゃ意味ありません。何も状況は変わりません。

鞍馬 ……。

森 ……どうですか？

鞍馬 ……それは、だから作戦としては、

馬本 そんなもん、やってみなきゃ分かりませんよ。負けると分かっている試合なんてありえないよ

森 ……うに、勝てるかと分かっている試合もありえませんか。

馬本 ……そうですね。

森 ……大事なのは、状況じゃなく、自分を変えることなんじゃないですか？ 杉山さんの言う、わ

馬本 ……だかまりを捨てて。

森 ……。

小次郎 ……別に、わだかまりなんて、

杉山 ……強がるな。

小次郎 ……。

杉山 ……俺も一足先に、わだかまりを捨てて来る。(ゆつくりとドアに向かう)

小次郎 ……。

杉山 ……どこへ？

小次郎 ……(苦しそうに) また、今朝のボンカレーのわだかまりが、動き出した……！

鞍馬 ……第2波が！

杉山 ……だやす！

杉山、部屋を出ていこうとする。

と、横山が飛び込んできて、杉山を押し戻す。

杉山 ……だやー！(床に転がる)

横山 ……お前ら！ もう9時半になるぞ！ 9時半超えたら向こうさん帰るって言うてるぞ！ そし

鎌田 ……て萩さんが第二形態になるぞ！ とにかく外行って並べ！ 早く！

鎌田 ……よし！ じゃあ行きますか！

鎌田、手の甲をスツと差し出す。

横山 ……ん、何？

鎌田 ……円陣ですよ。円陣。

横山 ……え、まとまったの？

鎌田 ……はい！ みなさん手出して！

みんなで円陣を組む。杉山もなんとか加わる。

森も加わる。

だが、小次郎は加わらない。

鞍馬 ……小次郎さん！

馬本 ……早くしないと杉山さんのわだかまりが！

杉山 ……ほおああああ……！

横山 ……早くしろって！

小次郎 ……。

小次郎、まだ表情はスッキリしていないながら、おずおずと手の平を重ねる。

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬 ありがとうございます！
鎌田 では！ 気合い入れいきますよー！
横山 待て待て！
鎌田 え？
横山 それはお前の役割じゃないだろ。
鎌田 いやでも、私が
横山 それは、俺がやるべき
八重樫 (いきなり) 志津山町役場チーム！ ファイ！
全員 オウ！
八重樫 ファイ！
全員 オウ！
八重樫 ファイ！
全員 オウ！
八重樫 勝つぞおおお！
横山 え、勝つ？
八重樫 ファイ！
全員 オウ！ (手を跳ね上げる)

第二形態と化した荻、ドアを開ける。全員、荻を見て固まる。

荻 9時30分をお知らせします！

と同時にチャイムの音(1時間目終了)と同時に音楽。
全員、部屋を飛び出していく。
暗転。

4

同日、11時半頃の教室。
鞍馬が教室の隅で倒れるようにして眠っている。
馬本、鎌田もイスに座ってぐったりしている様子。
小次郎はボーっと突っ立って窓の外を見ている。
そこへ、山口と片山がジュースの入ったビニール袋を手に戻ってくる。

山口 飲み物買って来ましたー。
鎌田 ありがとうございます。
山口 はーい。お疲れさまでしたー。

山口と片山が飲み物を配り、5人でそれを飲む。鞍馬の横にもジュースを置く。
と、杉山がトイレから戻ってくる。

杉山 ふう……。 (お腹をさすっている)
鎌田 お、今日のヒーロー帰ってきた。
山口 あ、飲み物……。あ、お腹大丈夫ですか？
杉山 ああ、今ちょうど第7波が終わったんで、もう収束したと思います。
山口 重ね重ね、お疲れさまでしたー。(杉山に飲み物を渡す)
鎌田 いやあ、にしても、でも……。杉山さんの一本目のシュートは凄かったねー。
山口 あ、あれはびっくりしました！
片山 いや、ドリブルもすごい速かった。
馬本 誰も追いつけなかったですもんねえ。よもや前半10分で先制点とは。
片山 ホントにねー！
山口 いやいや、そんなことありますけど。
片山 めちゃめちゃ盛り上がりましたよねー！
馬本 みんなでワーワーって盛り上がりつてるとこに杉山さんもダーって走ってきて、
馬本 みんなも杉山さんハグしようとか向かっていったら、杉山さんはスーッとその間を通り抜けて

ヘリクツイレブン

2020年版

杉山　そのままトイレへ直行しましたね。
鎌田　あれが第3波だったね。
杉山　あえなくトイレに20分間のロックダウンと。
小次郎　個室での無観客試合の始まりだ！　って、あ、そうだ。小次郎。
杉山　はい？
小次郎　武蔵が話あるって。
杉山　え？
小次郎　そこに來てるよ。(下手ドアの向こうを指さす)
小次郎　……なんだよ。

小次郎、廊下に出る。
以降、小次郎と武蔵の廊下での話声が聞こえてくる。

小次郎　……何？
武蔵　おう、こーちゃん。
小次郎　話って何、ムックン。
武蔵　何じゃねえよ。
馬本　ムックンて呼ぶんだ。
小次郎　要件あるんなら早く言って、ムックン。
武蔵　まず、ムックンて言うな！
小次郎　いいじゃん、そっちもこーちゃんって言ってんだから。
武蔵　お前はいいけど、俺はダメだ！
小次郎　何だよ。
武蔵　人前ではやめてよ……！
鎌田　やっぱ一人で喋ってるみたいですよね。
片山　落語みたいだよね。
小次郎　何引つ張ってんの。
武蔵　いいからちよつと来いって。
小次郎　痛いって！
武蔵　うるせえ！（などと言いながら遠ざかる）
山口　……あれ？　何の話してましたっけ？
片山　何だっけ。
馬本　あー、杉山さんの先制点からのロックダウンの話だよ。
杉山　で、その後は……。
馬本　まあ……あそこがピークでしたね。
鎌田　そっから……あとの80分は特に何も見せ場は無かったね。
片山　完全に向こうのチームに火をつけちゃったもんね。
山口　結局、1-6ですもんね。
鎌田　いや、1-7。
片山　普通にぼろ負けだもんね……。
杉山　俺が今朝……ポンカレー7年ものを食わなければ！

鞍馬、寝返りをうつ。みんな、それを見る。

……それだけじゃないですよ。

森、渡辺、八重樫が入ってくる。
八重樫は号泣していて、渡辺が慰めている様子。

森　あれ？　まだ打ち上げ行ってなかったんだ。
杉山　よし。じゃあ、そろそろ行きますか。田の久。
馬本　あ、ほんとに行くんですか？
杉山　当ったり前でしょ。豚玉とビール！　渡辺さんも行きますか？　行きますか？
片山　行きましょうよ！
渡辺　……いいんですか？
鎌田　もちろんですよ。
渡辺　じゃあ……はい、もしよろしければ。
片山　やったー！
山口　じゃあ、みんなで行きましょう。(八重樫に)ね？

ヘリクツイレブン

2020年版

八重樫
鎌田 (号泣しつつ) はい……。
やけ酒だー！ 生中だー！

鞍馬が起きる。

鞍馬 生中……？
片山 あ、起きた。
杉山 打ち上げ行くよ。
鞍馬 ……………後で。
馬本 それじゃ、先に行ってるよ。
山口 ……森さんは？
森 ここ片付けたら、行きます。
鎌田 じゃあお先に！

森と鞍馬を残し、他の人たちは荷物を持って出ていく。
が、渡辺がすぐに戻ってきて、

渡辺 やっぱり私も、片づけ手伝います。
森 いえ、大丈夫ですから。
渡辺 やりますよ。
森 もういいですから。また倒れますよ？
渡辺 いやあ、面目ないです。
森 ……あの……なんで、長袖脱がなかったんですか？
渡辺 え？ いやあ……やっぱり正々堂々と試合がやりたくなつたんで。皆さんのご迷惑になると
まずいですし……。結局、途中でグロッキーになって足引つ張っちゃいましたけど。
森 ……また倒れられても困りますし。先に行ってください。
渡辺 あ、いや、
森 大丈夫ですから。
渡辺 ……すみません。では、後ほど。

渡辺は去る。

森は黙々と部屋のイスなどを片付ける。

鞍馬 ……森さん、
森 何？
鞍馬 偉いすね。
森 何が？
鞍馬 片づけして。
森 ……うん。そう思うんなら、手伝って。
鞍馬 はい。

森、なおも片付け続けるが、鞍馬は動かない。

鞍馬 森さん、
森 何？
鞍馬 ……結果、良かったっすね。
森 何が。
鞍馬 ……うちが負けて。
森 ……。

森、黙々と片付ける。片づけ終わり、

森 ……本気だとき、
鞍馬 はい？
森 本気でやるとやっぱり……悔しいね。
鞍馬 ……はい。
森 ……はい。
森 ……はい。(飲み物を見つけ) これ、俺のすか？
鞍馬 そうじゃない？

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬

あざす。

鞍馬、飲み物を飲む。

森

(ボールを拾い) このボールも鞍馬くんのですよ？ (鞍馬に渡す)

鞍馬

……いえ。

森

え、違うの？

鞍馬

違いますよ。これ、朝来た時にその辺に、

小次郎が戻ってくる。

小次郎

はあ……。

森

何喋ってたの？

小次郎

え？
向こうで喋ってたでしょ？ お兄さんと。

森

いや、別に……。

小次郎

……ま、いいや。打ち上げで聞かせて。

森

え、行くんですか？

小次郎

……ダメ？

森

いや……。

小次郎

行かないの？

森

……俺は考え中です。

小次郎

あ、そう……。じゃ。

森も自分の荷物を持って去る。

鞍馬

ふう……。

小次郎

……お疲れ。

鞍馬

お疲れ様でした。

小次郎

……お前は打ち上げ行くの？

鞍馬

行きます。

小次郎

あ、そ……あのさ、

鞍馬

はい。

小次郎

今、ムツくんにか、

鞍馬

ムツくん？

小次郎

あ、いやいや、武蔵にか、

鞍馬

あ、はい。

小次郎

おせーって言われた。

鞍馬

……何がですか？ 足がですか？ パス回しですか？ あ、カウンター？

小次郎

……本気になるのが。

鞍馬

あー……。

小次郎

向こうも分かってたんだな……。

鞍馬

……。

鞍馬、ボールを拾い、

鞍馬

このボール、もしかして小次郎さんのですか？

小次郎

……そうだよ。

鞍馬

朝来たときから、誰のボールだろうって思ってたんです。試合用のボールかと思ったら、違

小次郎

うボールだったし。

鞍馬

なんか眠れなくて、で、6時に来て、ここでリフティングしてた。

小次郎

グラウンドでやれば良かったのに。

鞍馬

外だと、誰かに見られるじゃん。

小次郎

いいじゃないすか。

鞍馬

恥ずかしいよ。

小次郎

そうすか。

鞍馬

そうだよ……。もう、四十路超えのおっさんだからね、俺。

小次郎

いいじゃないすか。おっさんでも。

小次郎

……じゃあ、来年の本番まで……1年間特訓だ。

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬 特訓ですか。
小次郎 で、勝つ。
鞍馬 勝ちましょう。
小次郎 打倒武蔵。
鞍馬 打倒ムックン。
小次郎 いいね、そっちの方がいいよ。打倒ムックン！
鞍馬 打倒ムックン！
小次郎 よし、じゃあ、手始めに、今日はリフティングから。ボールコントロールの感覚を取り戻す。
鞍馬 あ、今からですか？
小次郎 当たり前だよ。特訓だよ？
鞍馬 オス。
小次郎 じゃあ、まずは軽く100回から。
鞍馬 え、100回からですか？ え、小次郎さん出来るんですか？
小次郎 ……出来る。
鞍馬 ちよつと、間あつたじゃないすか、今。
小次郎 多分……出来る……はず。
鞍馬 俺は多分、出来ないすよ。
小次郎 言うか、自分からそういうこと！
鞍馬 あ、じゃあ、先に100回行つたらなんかご褒美もらえることにしません？ その方が燃えるし。
小次郎 おお、いいね。どんな？
鞍馬 じゃあ、先に俺が100回行つたら……次のワールドカップに連れてつて下さい。
小次郎 ああ……あれ？ 次どこだっけ？
鞍馬 2022年はカタルです。
小次郎 カタル!? めっちゃ遠いじゃん。
鞍馬 それくらいじゃないと燃えないすよ。
小次郎 ……じゃあ(腕時計が携帯を見て)……午前中に100回行つたら、いいよ。
鞍馬 マジすか。……あと何分ですか。
小次郎 20分くらい。
鞍馬 うわ、短い。
小次郎 その代り、俺も午前中に100回行つたら、お前が連れてけ。
鞍馬 ……分かりました。
小次郎 あと、逆途中で失敗したら罰ゲームな。
鞍馬 罰ゲーム？
小次郎 シッペ。
鞍馬 うわ、懐かしいな、シッペ。
小次郎 100に足りてない回数だけシッペ。例えば70回で終わつたら、30回シッペ。
鞍馬 うわ、きついな、それ。
小次郎 それくらいの方が緊張感あるだろ。
鞍馬 そうすね。じゃ、やりますか。
小次郎 じゃんけんで勝つた方が先攻後攻決めることで。
鞍馬 小次郎と鞍馬はじゃんけんで先攻後攻を決める。鞍馬が勝つて、
よし。じゃ、僕から行きます。
鞍馬 鞍馬、リフティングを始める。小次郎が横で教える。
途中で失敗する(かな?)。
小次郎 はい、シッペ〇回。どっちの腕にします？ 右？ 左？
鞍馬 ちよつと待って！ 今のは違います！
小次郎 何？
鞍馬 今の、ちよつと足がつりそうになつたんすよね。
小次郎 嘘つくなよ！
鞍馬 いや、ほんとほんとほんと。ほんとほんと。ほんとほんとほんと。
小次郎 必死すぎるだろ！ 大体、そんなの関係ないだろ。
鞍馬 いや、今のは、今のは不可抗力。ノーカン。今のはノーカン。ちよつと足しつかり伸ばしてから始めますから。それから！ 次からはもう大丈夫ですから。ほんとに。
小次郎 小賢しいな、お前。

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬 小賢しいってなんですか。いいから先やって下さい。
小次郎 ま、一回目だから大目に見てやるよ。じゃ、俺行きます。

小次郎、リフティングを始める。鞍馬が横で数える。
やはり途中で失敗する(かな?)。

鞍馬 はい、シッペー!

小次郎 いや、違いますよ今のは。

鞍馬 今のは不可抗力じゃないですよ!

小次郎 うるさいんですよ、鞍馬くんの声が。

鞍馬 回数数えてるだけですよ。

小次郎 もうちょっと静かでないんですよ。

鞍馬 なんですかその喋り方! 普通ですよ。いいから、腕出して。

小次郎 あ、ていうか、そうじゃなくて、今のは、鞍馬くんのリフティング始めるまでのつなぎですから。今のは関係ないです。あくまで先攻は鞍馬くんですから。

鞍馬 何すか、それ。

小次郎 そういう順番とかケジメしつかりしないと。

鞍馬 でも、今始める前に「じゃ、俺行きます」って言ったじゃないすか。

小次郎 それも含めてシミュレーションです。リハです、リハ。

鞍馬 ずりいな、お前。

小次郎 ずりいって、いや、「お前」って言ったよね、今! 「お前」って! 何その言い方、先輩に向かつて。

鞍馬 言っでないよ。

小次郎 言っただろ!

などと二人が言い訳しあっている中、横山が入ってくる。

横山 (自分のバッグを探し) えーと……あつたあつた。バナナ忘れるところだった。

鞍馬 もう、分かりましたから、早くやりましょう。午前中しかないし。

小次郎 本気で行く気か、ワールドカップ。

鞍馬 当たり前すよ。

小次郎 よし、じゃあ、今度こそ本チャンね。

鞍馬 イエス。

小次郎 よし、じゃあ今度俺から行くわ。

小次郎、深呼吸などをして集中する。
横山、その脇を通って帰ろうとしていたが、

横山 ねえ、バナナ、余ったけどいる?

鞍馬 ちよっと、黙って下さい。静かにしてください。

横山 いや、

小次郎 じゃ、行きます……。

小次郎、再びリフティングを始める。
が、横山が2〜3回くらいでボールをはじいてしまう。

小次郎・鞍馬 あ!

横山 お前らバナナ、持ってたって? こんなに余っちゃったから。

小次郎・鞍馬 ……。

横山 ほら。(バッグを差し出す)

鞍馬 ……どうします?

小次郎 ……やっとかか。

小次郎が横山の左腕を掴む。

横山 ん? どうした?

小次郎 バナナあと何本くらい残ってます?

横山 これ? ざっと……100あるんじゃない?

小次郎 なるほど。鞍馬、100だつて。

ヘリクツイレブン

2020年版

鞍馬 承知しました。

鞍馬、横山の右腕を掴む。

横山 何やってんの。

小次郎 よし、じゃあ、せーので。せーのッ、
小次郎・鞍馬 1！

鞍馬・小次郎、横山の腕に強烈なシツペをかます。
さらに、交互に横山の腕にシツペを重ねていく。
横山、悶絶していく中、溶暗。

終